

りあんと



第14号
令和7年10月

りあんとは、フランス語で「人と人をつなげる」という意味があります。



目次

| | | | |
|-----------------|---|------------------|---|
| 副院長あいさつ | 2 | 専門職からのミニ講座 | 3 |
| 看護部長あいさつ | 2 | ふたばのあゆみ | 4 |
| 感染管理室について | 3 | 病院祭について | 4 |

副院長あいさつ

～暑さが残るこの時期に
注意していただきたいこと～

ふたば医療センター附属病院

木下副院長



暑さが残るこの時期、当院外来は草刈りに伴う熱中症と蜂刺症の患者さんが多いです。どちらの疾患も重症の場合死に至る病気ですので、普段の心掛けと予防が重要です。

軽症の熱中症であれば、木陰で休んで自分で水分をとるだけで回復しますが、重症の熱中症では、意識障害となり、自分で木陰に行くこともできず直射日光にさらされ、多臓器不全で亡くなることもあります。最近数年間全国では、1,000名以上の方が毎年熱中症で亡くなっています。

熱中症診療ガイドラインは2024に改定されて重症度が3分類から4分類に改められ、最重症を定義しています。体をさわって熱く、呼びかけに開眼できなければ、最重症を疑って救急車要請と木陰に

避難させ、首・脇の下・足の付け根などを冷却して救急車を待つようにしてください。熱中症をうたがったら早めの医療機関受診がおすすめです。臓器障害（腎障害・肝障害）は、症状だけでははっきりせず、採血で診断できることもあります。

蜂刺症もいままで蜂に刺されて大丈夫だったから、次に刺されても大丈夫ということにはなりません。アナフィラキシーショックで亡くなる可能性もあります。

草刈りも複数名で声を掛け合って行き、早めに休憩をとること、蜂に刺された場合もすぐに声を掛け合うことが重要です。

体の異変を感じたらすぐに医療機関を受診して相談いただければと思います。

看護部長あいさつ

～生きがいについて～

ふたば医療センター附属病院

梅宮看護部長



近年、海外では「IKIGAI」（生きがい）という日本語が注目され、ローマ字表記にした日本語がそのまま海外で通用するようになってきています。その他の例としては「MOTTAINAI」（もったいない）「KAIZEN」（改善）などが知られています。

生きがいも日本独特の考え方といえるかもしれませんが、生きがいを持つことにより、日常生活に張り合いが生まれます。それだけでなく毎日を生き生きとした気持ちで過ごすことができれば、少なくとも「ストレスが引き起こす病気」にはかかりにくく心身共に健康でいられると思います。

心理学者マズローは、「5段階欲求説」として人間の欲求をピラミッドで示しました。

その考えは低層の欲求が満たされるとその上の欲求を求めるというもので、具体的には、第1段階：生理的欲求（食べたい・寝たい）、第2段階：安全欲求（安心・安全・健康）、第3段階：社会的欲求（つながり・仲間）、第4段階：承認欲求（認められたい・役に立ちたい）、第5段階：自己実現（自分らしく生きたい）の5段階です。

誰かと笑い合ったり、ありがとうと言われたり、好きなことに夢中になれるなど自分らしく暮らしていくことも生きがいの一つです。生きがいを持っている人の方が健康で幸福度が高いという研究結果もあります。皆さんの「生きがい」は何ですか？

感染管理室について



今回は令和7年度より新設された
感染管理室についてご紹介します!!



【感染管理室】五十嵐感染管理特定認定看護師

ふたば医療センター附属病院は、地域の皆さんの健康と命を守る救急病院として、24時間365日体制で診療を行っています。病床数は30床と小規模ながらも、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供しています。

感染管理室では、院内で感染症が広がらないよう、日々多くの取り組みを行っています。

手洗いやマスクの正しい使い方、消毒の方法、清潔な環境づくりなど取り組みは様々です。時には職員と一緒に確認し、必要があればすぐに感染対策ができる体制を整えています。また、現場での教育・指導、院内研修の他に、地域住民の方に出前講座なども実施しています。

スタッフが安心して働ける環境を整えることで、患者さんにより安全な医療を提供することができます。今後も、病院全体で協力しながら「感染を持ち込まない・広げない・持ち出さない」ための対策を続けてまいります。

専門職からのミニ講座

服薬のタイミングに関して [担当：薬剤部]

皆さん、こんにちは。ふたば医療センター附属病院 薬剤部です。
今回は、一度は疑問に思ったことがあるであろう、「食後っていつ？」
についてお話させていただきたいと思います。

今回は、薬剤師が
服薬のタイミング
についてご説明
します!



薬の飲み方における食後とは、食事が終わって20～30分後までのことを指します。食事のあとは、食べ物が胃の中にあるため、薬による胃への刺激を抑えることができます。そのため、胃に負担をかけやすい薬や食べ物と一緒にの方が吸収が良くなる薬などが食後に服用することが多いです。

反対に食前は、食事の20～30分前までのことをいいます。食事による血糖値を抑える薬や胃に食べ物が入ってない方が吸収されやすい薬などが該当します。

このように、薬を飲む時間は、副作用を軽減し、薬の効果を最大限発揮させるよう考えて決められております。今回の話を機に、薬を飲む時間に注目していただけたら幸いです。

食後



20～30分



食前



20～30分



Check Point!

薬の効果が高まるよう、飲む時間に注意しましょう

ふたばのあゆみ



ふたば医療センター附属病院

@futaba_fuzoku

公式Xではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。

ふたば医療センター附属病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院が知りたい方など、ぜひご覧ください！フォローやリポスト、いいねも大歓迎です！

こちらのQRコードより
Xのホーム画面に
飛べます！



6月24日

双葉消防本部との情報連絡会



7月3日

BLS研修



7月29日

防火避難訓練



病院祭を開催します！



病院祭の開催は今年で4回目の開催となります。例年好評頂いている多目的医療用ヘリ見学の他に子ども試着体験や災害テント展示などここでしか体験できない企画が盛りだくさんです！

皆様のご来場を職員一同お待ちしております！

【日時】令和7年11月8日(土) 10:00~14:00

【会場】福島県ふたば医療センター附属病院

富岡秋まつり
と同日開催！



今回の表紙



これまで開催した院内研修の風景です。当院では様々な分野の院内研修を開催しており、職員一人ひとりの意識向上に努めております。

福島県ふたば医療センター附属病院

- 〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡王塚817-1
- 電話 0240-23-5090 ● FAX 0240-23-5091
- ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

診療科 救急科、内科

窓口受付 平日 9時から12時、13時から16時まで
ただし、救急については24時間365日対応します。

